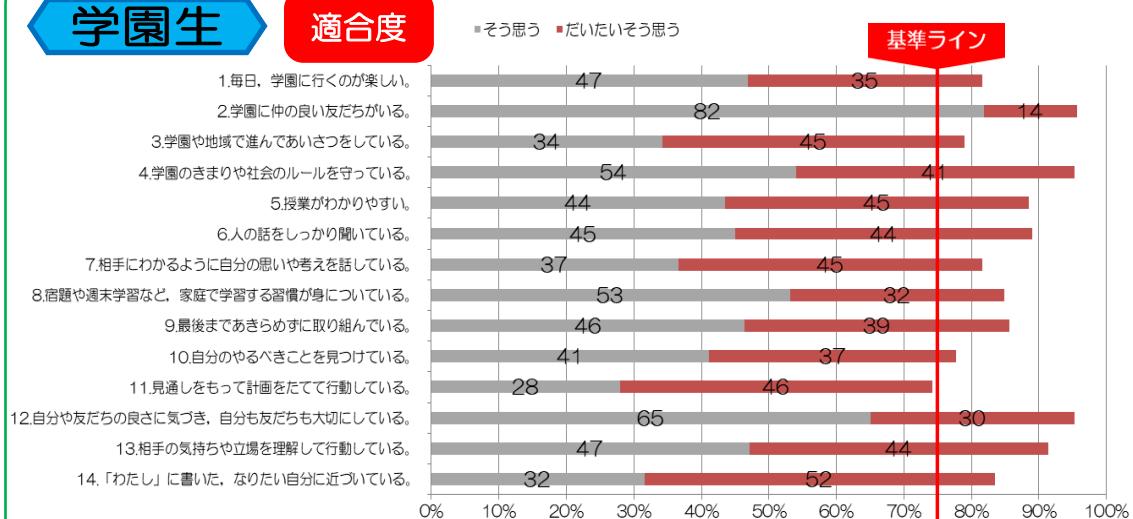


後期学園評価アンケート結果

令和4年
1月実施

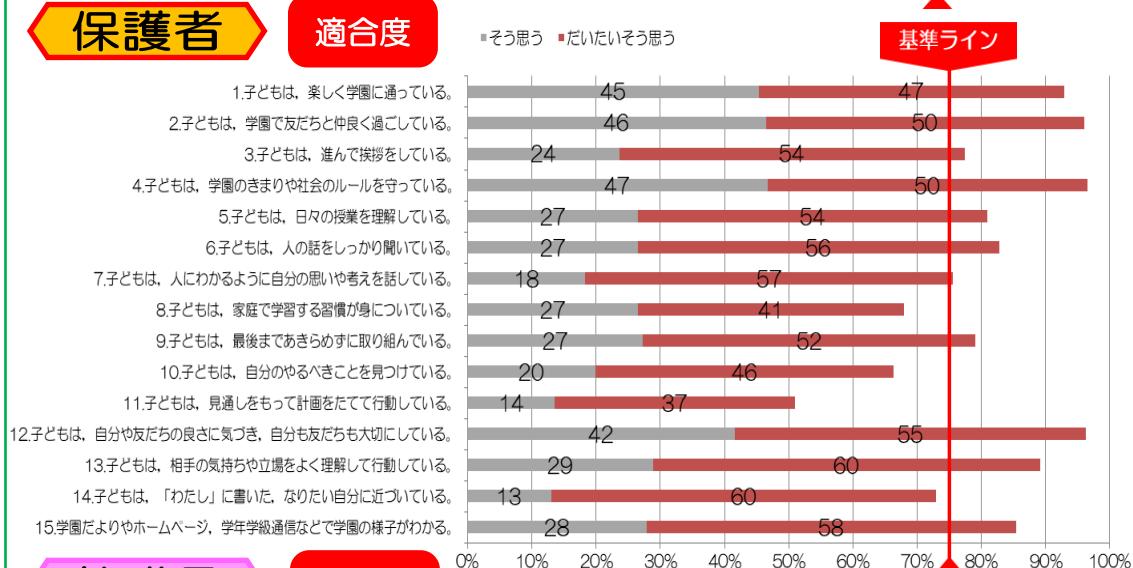
学園生

適合度



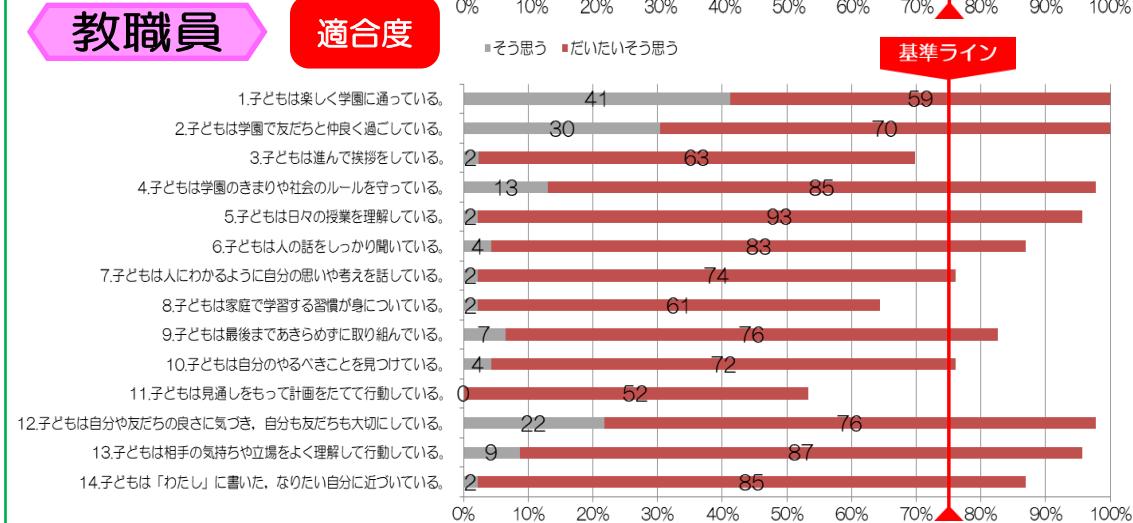
保護者

適合度



教職員

適合度



《結果の見方について》

- 今回も学園生は一人一台配付されているGIGA端末を活用し、アンケートフォームにアクセスして回答しました。保護者の皆様にはお持ちの端末で学園生同様、回答していただきました。
- 肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、7.5%を判断の基準としています。

《結果をもとにした考察》

- 「設問3」あいさつについては、学園生全体で前回よりも1ポイント上昇し、少しずつではありますが着実に成果が表れています。地域の安全支援員さんやPTAの「あいさつ運動」等のご協力のおかげだと感じています。
- 「設問8」家庭学習については、学園生全体で前回よりも3ポイント上昇しています。また、保護者や教職員の意識も前回より上昇しており、GIGA端末を活用した家庭学習や自主学習課題の取組、週末課題の工夫など、今年度重点的に取り組んできた成果が表れています。
- 「設問11」前回の課題として挙がっていた見通しや計画性については、今回、学園生全体で5ポイント上昇しましたが、保護者や教職員の受け止めは依然として低いままで。計画表やスケジュールノートを活用するなどし、自分の生活時間を客観的にとらえられるような取組が必要です。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。お書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。なかでも、「コロナ禍の困難な時にいかに工夫して生活していくか」ということを考える大人の姿勢が子どもたちにとって大切なことだと思います。」といったご意見をいただきました。学園運営協議会の理事の皆様からも、学園・保護者・地域が一体となり、チーム学校として持続可能な新たな取組を創造することが必要だというご意見をいただきました。学園生が少しでも自己有用感を味わえるような授業や取組を、これまでにない新たな視点で考えていきたいと思います。今後も家庭と地域、学園が連携・協働しながら、子どもをよりよく育んでいきたいと考えています。今後も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。